

# 校長室だより

週1回発行

令和3年2月10日（水）NO. 23

## 2月 如月

如月(きさらぎ)の由来は、まだまだ寒さが厳しい時期のために、更に衣を重ね着するという意味から「衣更着(きさらぎ)」になったという説が最も有力とされているそうです。その他にも2月は、「令月」「梅見月」「雪消月」「木芽」など、厳しい寒さの中にある小さな春を思い起こさせる言葉が多くあります。「雁帰月」は、秋にやってきた渡り鳥の雁が春が近付きシベリアへ帰っていくという意味があります。

厳しい寒さの時期を表す言葉、少しずつ春へと向かう様子を表す言葉が共存しており、季節が移ろい始める時期であることが感じ取れるのではないのでしょうか。

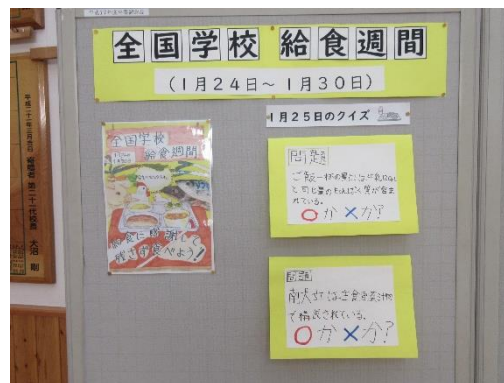
中学校で考えてみると3年生は、中学校生活をしっかり行いまとめとする時期であり、高校生活に夢を抱き羽ばたく準備をしている時期であるということが言えるのではないのでしょうか。

## 放送委員会

放送委員会の活動について説明します。昼の放送、清掃時の放送、帰りの放送を主な活動としています。アナウンスが立派で分かりやすくしっかりと聞き手に伝えています。例えば給食の時間、「給食準備の時間となりました。新型コロナウイルス感染症予防のためしっかりと手を洗い給食の準備をしてください」とアナウンスされます。掃除の時は、「私たちの学校を自分たちの手でしっかりと掃除をしてきれいにしましょう。掃除が終了したらしっかりと手を洗いましょう」と放送されます。どの日も聞いていて心地良いアナウンスで全校生徒は、そのアナウンスをきちんと聞いて活動しています。放送委員会のアナウンスが槻木中学校の日常の生活を支えているのだと思います。

## 給食委員会

1月25日(月)から1月29日(金)まで給食週間でした。中央ホールに作成したポスターとクイズを掲示し学校給食について全校生徒に考えてもらう機会としました。クイズは期間中毎日更新しま



した。作成したポスターは、素晴らしい出来で皆さんに是非、見てもらいたいと感じました。また、給食センターの職員の方々に感謝の手紙をお送りしました。このように給食委員会は、積極的な活動を行っています。

## 登校風景

8日(月)、9日(火)と寒い日が続きました。毎朝いつもの交差点にいと私に自分から挨拶する生徒が増えてきました。6月頃は、「おはようございます」と挨拶しても会釈して通り過ぎる場面が多かったのですが最近は、私が挨拶するよりも先に自分から「おはようございます」と挨拶してくれます。

人間関係を考えるうえで挨拶ほど大切なものはないと考えます。何よりも「人間尊重」の基本となるものであり、「こんにちは」や「はじめまして」の挨拶によって、初対面の相手も心の窓を開きます。すべては挨拶からはじまります。学校の日も「おはようございます」の一言からスタートします。

「挨拶は心の窓」です。これは自分から心の窓を開いて挨拶をすれば、相手も心を開いて挨拶をしてくれるという意味です。

卒業式まで登校する日が15日、修了式まで29日です。明るい挨拶が飛び交う温かみのある学校で学年のまとめをしっかりとさせていきたいと考えています。